

2025年度(前期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優演技基礎			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	劇団主催 演出・出演多数

 授業概要

舞台演技基礎知識・実践

 授業テーマ

舞台演技における「受け」の演技の重要性

 授業項目

 授業内容

1	✓	声優演技基礎①	テンションとパワーとの違いを説明する。
2	✓	声優演技基礎②	スタニスラフスキーの3つの輪の概念。わざとらしい演技とは？
3	✓	声優演技基礎③	パワースピーチ。人前で自分の好きなものを発表する。
4	✓	声優演技基礎④	腹式発声について。もう一度、考察を深める。
5	✓	声優演技基礎⑤	脚本を渡し、解釈を演出家とすり合わせる。
6	✓	声優演技基礎⑥	脚本の稽古。共演者にフォーカスを絞ることを専念する。
7	✓	声優演技基礎⑦	脚本の通し。
8	✓	声優演技応用①	台本稽古。(セリフを覚える)
9	✓	声優演技応用②	台本稽古。(半立①) 身体を伴った声を出していく。
10	✓	声優演技応用③	台本稽古。(半立②) 身体を使って声を出していく。
11	✓	声優演技応用④	台本稽古。(半立③) 演出からのオーダーを瞬時に受け入れていく。
12	✓	声優演技応用⑤	台本稽古。(通し①) 台詞を身体に落とし込んでいく。
13	✓	声優演技応用⑥	台本稽古。(通し②) 共演者と会議し、チームワークを構成する。
14	✓	声優演技応用⑦	台本稽古。(通し③) チームごとに集まりスタッフ的に作業も同時進行する。
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

舞台演劇公演の達成・出演実績

 評価方法

舞台公演出演

 教科書・参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優演技基礎			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	劇団主催 演出・出演多数

授業概要

舞台公演に向けての準備・稽古

授業テーマ

舞台演技の「縦」の演技と「横」の演技のバランスを探っていく。

授業項目

授業内容

1	／	声優演技基礎①	うしろう売りにおける発声の仕組み。夏公演の反省をフィードバックする。
2	／	声優演技基礎②	新脚本の読み。
3	／	声優演技基礎③	新脚本の読み。オーディション。
4	／	声優演技基礎④	新脚本の読み。キャスティング。
5	／	声優演技基礎⑤	新脚本の読み。脚本解釈。
6	／	声優演技基礎⑥	新脚本の半立。共演者と自分の役の情報をピックアップしていく。
7	／	声優演技基礎⑦	新脚本の半立。
8	／	声優演技応用①	脚本の練習。読み。
9	／	声優演技応用②	脚本の練習。読み。
10	／	声優演技応用③	脚本の練習。半立。
11	／	声優演技応用④	脚本の練習。半立。
12	／	声優演技応用⑤	脚本の練習。台本を放しての読み。
13	／	声優演技応用⑥	脚本の練習。映像に録画し、鑑賞する。
14	／	声優演技応用⑦	脚本の練習。舞台のバランスを整えていく。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台公演に出演し与えられた役を演じる

評価方法

舞台公演に出演

与えられた役職（制作・小道具・大道具・衣装）を遂

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

 授業テーマ

台詞技術の向上

 授業項目

 授業内容

1	／	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	／	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	／	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	／	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	／	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	／	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	／	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	／	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	／	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	／	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	／	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	／	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	／	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	／	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題台本オーディション発表

 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

 授業テーマ

台詞技術の向上

 授業項目

 授業内容

1	／	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	／	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	／	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	／	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	／	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	／	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	／	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	／	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	／	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	／	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	／	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	／	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	／	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	／	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題台本オーディション発表

 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策B			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

 授業テーマ

台詞技術の向上

 授業項目

 授業内容

1	/	声優審査対策①	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる①
2	/	声優審査対策②	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる②
3	/	声優審査対策③	中間発表。及び、他チームの講評意見交換を行う。
4	/	声優審査対策④	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す。
5	/	声優審査対策⑤	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す②
6	/	声優審査対策⑥	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す③
7	/	声優審査対策⑦	発表。及び他チームへの講評、意見交換を行う。
8	/	声優審査応用①	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う。
9	/	声優審査応用②	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う②
10	/	声優審査応用③	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う③
11	/	声優審査応用④	中間発表、ディスカッション。
12	/	声優審査応用⑤	創作①
13	/	声優審査応用⑥	創作②
14	/	声優審査応用⑦	発表。振り返り、1年間のまとめ。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題台本オーディション発表

 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策B			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

 授業テーマ

台詞技術の向上

 授業項目

 授業内容

1	/	声優審査対策①	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる①
2	/	声優審査対策②	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる②
3	/	声優審査対策③	中間発表。及び、他チームの講評意見交換を行う。
4	/	声優審査対策④	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す。
5	/	声優審査対策⑤	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す②
6	/	声優審査対策⑥	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す③
7	/	声優審査対策⑦	発表。及び他チームへの講評、意見交換を行う。
8	/	声優審査応用①	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う。
9	/	声優審査応用②	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う②
10	/	声優審査応用③	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う③
11	/	声優審査応用④	中間発表、ディスカッション。
12	/	声優審査応用⑤	創作①
13	/	声優審査応用⑥	創作②
14	/	声優審査応用⑦	発表。振り返り、1年間のまとめ。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題台本オーディション発表

 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	タレント事務所所属、タレント業

 授業概要

収録スタジオにてアフレコ基礎トレーニング

 授業テーマ

正しい発音とタイミング、マイクワークで、短尺のアニメアフレコを収録

 授業項目

 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク決め、尺調など
3	／	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と発音指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、発音のおさらいと表現指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
7	／	アフレコ基礎⑦	最終リハーサル本番収録(アニメ短尺)プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
8	／	アフレコ応用①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコにてキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と暗記の定着)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、暗記のおさらいと、表現の指導)
12	／	アフレコ応用⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
13	／	アフレコ応用⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
14	／	アフレコ応用⑦	最終リハーサル 本番収録(洋画中尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

今日における声優業界を知り、仕事への意識向上を図る

 評価方法

アフレコ収録による評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	タレント事務所所属、タレント業

 授業概要

アフレコ収録・応用

 授業テーマ

★心の反映(表情筋) ★動きの反映(呼吸の芝居など)

★距離感の反映(声を飛ばす目的の設定) を意識してアフレコを収録

 授業項目

 授業内容

1	✓	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ/読みの応用レクチャー①
2	✓	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表/マイクワーク、尺調など
3	✓	アフレコ基礎③ 1	決まったキャストによる小返し①(心の反映注力指導)
4	✓	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(動きの反映・距離感の反映注力指導)
5	✓	アフレコ基礎⑤	ギャ指導→全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
6	✓	アフレコ基礎⑥	全通し→最終調整 最終リハーサルまで。
7	✓	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	✓	アフレコ応用①	台本製本、読み合わせ、画合わせ/読みの応用レクチャー②
9	✓	アフレコ応用②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表/マイクワーク、尺調、暗記など
10	✓	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(心の反映に注力指導)
11	✓	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(動き、距離感の反映に注力指導)
12	✓	アフレコ応用⑤	台本なし全通し①→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
13	✓	アフレコ応用⑥	台本なし全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
14	✓	アフレコ応用⑦	本番収録(洋画長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

本番収録 発表

 評価方法

配役を演じ・収録・評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱基礎			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	32	タレント・MC・アーティスト

 授業概要

基礎的な発声・音程を習得

 授業テーマ

歌う際の発声の仕方を知る。音符を読む。音符を読む。

 授業項目

 授業内容

1	/	歌唱基礎①	五線譜上の音符を解明で読んで歌う。コンコーネ50番練習曲1番「夢をあきらめないで」
2	/	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習
3	/	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習
4	/	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習
5	/	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習
6	/	歌唱基礎⑥	テスト階名で歌う「コンコーネ50番1番（暗譜）」
7	/	歌唱基礎⑦	「夢をあきらめないで」暗譜テスト
8	/	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲16番Caro mio ben
9	/	歌唱応用②	上記を繰り返し練習
10	/	歌唱応用③	上記を繰り返し練習
11	/	歌唱応用④	上記を繰り返し練習
12	/	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習
13	/	歌唱応用⑥	階名で歌う。テスト「コンコーネ50番練習曲16番（暗譜）」
14	/	歌唱応用⑦	テスト Caro mio ben（暗譜）
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題曲個人披露 クラス披露

 評価方法

採点形式で発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱基礎			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	32	タレント・MC・アーティスト

授業概要

基礎的な発声・音程を習得

授業テーマ

歌う際の発声の仕方を知る。音符を読む。音符を読む。

授業項目

授業内容

1	／	歌唱基礎①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲11番、アニメソング
2	／	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習
3	／	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習
4	／	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習
5	／	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習
6	／	歌唱基礎⑥	階名で歌う。テスト コンコーネ50番練習曲11番（暗譜）
7	／	歌唱基礎⑦	階名で歌う。テスト アニメソング（暗譜）
8	／	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲32番。アニメソング
9	／	歌唱応用②	上記を繰り返し練習
10	／	歌唱応用③	上記を繰り返し練習
11	／	歌唱応用④	上記を繰り返し練習
12	／	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習
13	／	歌唱応用⑥	階名で歌う。テスト コンコーネ50番練習曲32番（暗譜）
14	／	歌唱応用⑦	テスト アニメソング（暗譜）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題曲個人披露 クラス披露

評価方法

採点形式で発表

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	発声基礎トレーニング			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	32	タレント・MC・アーティスト

 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

 授業テーマ

台詞技術の向上

 授業項目

 授業内容

1	／	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	／	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	／	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	／	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	／	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	／	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	／	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	／	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	／	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	／	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	／	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	／	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	／	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	／	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題台本オーディション発表

 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	発声基礎トレーニング			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	32	タレント・MC・アーティスト

 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

 授業テーマ

台詞技術の向上

 授業項目

 授業内容

1	／	声優審査対策①	オリエンテーション
2	／	声優審査対策②	短いテキスト（モノログ）を用い「演じるために読む」ことの意味を理解する。
3	／	声優審査対策③	短いテキスト（モノログ）を用い「演じるために読む」ことの意味を理解する②
4	／	声優審査対策④	短いテキスト（モノログ）を用い、読む→演じる、のプロセスを正しく行う①
5	／	声優審査対策⑤	短いテキスト（モノログ）を用い、読む→演じる、のプロセスを正しく行う②
6	／	声優審査対策⑥	短いテキスト（会話）を用い、演技の基本的な知識を身に着ける①
7	／	声優審査対策⑦	短いテキスト（会話）を用い、演技の基本的な知識を身に着ける②
8	／	声優審査応用①	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する①
9	／	声優審査応用②	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する②
10	／	声優審査応用③	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する③
11	／	声優審査応用④	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する④
12	／	声優審査応用⑤	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する⑤
13	／	声優審査応用⑥	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する⑥
14	／	声優審査応用⑦	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する⑦
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題台本オーディション発表

 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界対策			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

授業概要

過去の表現作品の考察  
オーディションに向けての業界進出準備  
プロフシート作成

授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる  
プロフシートの添削・作成・完成・提出まで

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	作品研究 1970年代作品 プロフ作成
2	／	業界進出準備②	作品研究 1970年代作品
3	／	業界進出準備③	作品研究 1970年代作品
4	／	業界進出準備④	作品研究 80年代映画
5	／	業界進出準備⑤	作品研究 80年代映画
6	／	業界進出準備⑥	作品研究 90年代映画
7	／	業界進出準備⑦	作品研究 90年代映画 プロフ回収
8	／	業界進出準備・対策①	作品研究 2000年代映画
9	／	業界進出準備・対策②	作品研究 90年代映画 チェックバック1
10	／	業界進出準備・対策③	作品研究 90年代映画
11	／	業界進出準備・対策④	作品研究 90年代映画
12	／	業界進出準備・対策⑤	作品研究 90年代映画 チェックバック2
13	／	業界進出準備・対策⑥	作品研究 90年代映画
14	／	業界進出準備・対策⑦	作品研究 90年代映画
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

プロフシート添削・完成・企業への提出  
映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

オーディション参加のためのプロフシート完成

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界対策			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

 授業概要

過去の表現作品の考察  
 プロフシートアップデート  
 オーディションに向けての業界進出準備

 授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる  
 プロフシートの添削・作成・完成・提出まで

 授業項目

 授業内容

1	/	業界進出準備①	作品研究 1970年代作品
2	/	業界進出準備②	作品研究 1970年代作品
3	/	業界進出準備③	作品研究 1970年代作品
4	/	業界進出準備④	作品研究 80年代映画
5	/	業界進出準備⑤	作品研究 80年代映画
6	/	業界進出準備⑥	作品研究 90年代映画
7	/	業界進出準備⑦	作品研究 90年代映画 プロフ回収
8	/	業界進出準備・対策①	作品研究 2000年代映画
9	/	業界進出準備・対策②	作品研究 90年代映画 チェックバック1
10	/	業界進出準備・対策③	作品研究 90年代映画
11	/	業界進出準備・対策④	作品研究 90年代映画
12	/	業界進出準備・対策⑤	作品研究 90年代映画 チェックバック2
13	/	業界進出準備・対策⑥	作品研究 90年代映画
14	/	業界進出準備・対策⑦	作品研究 90年代映画
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

プロフシート添削・完成・企業への提出  
 映画作品研究をし表現の幅を広げる

 評価方法

オーディション参加のためのプロフシート完成

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ボーディーワーク基礎			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	32	ダンサー・インストラクター

 授業概要

身体応用基礎・知識の習得

 授業テーマ

身体各部位の解剖学的理解（座学）と体現(ムーブメント) ①

 授業項目

 授業内容

1	✓	ボーディーワーク基礎①	身体の成長と自身の現状を把握、及びエクササイズの質を高める為のイメージワークを学ぶ
2	✓	ボーディーワーク基礎②	呼吸のメカニズムを学び、体現する。
3	✓	ボーディーワーク基礎③	身体育成法により、運動と呼吸の連動を意識して動く 骨盤の機能解剖学を学ぶ
4	✓	ボーディーワーク基礎④	骨盤の動きを体現するムーブメント、及びリリース 背骨の機能解剖学を学ぶ
5	✓	ボーディーワーク基礎⑤	背骨の動きを体現したムーブメント及びリリース ピラティスによるスパインワーク
6	✓	ボーディーワーク基礎⑥	呼吸、骨盤、背骨の解剖学と機能のまとめ、関連のムーブメントとピラティス
7	✓	ボーディーワーク基礎⑦	筆記試験 ムーブメントの復習
8	✓	ボーディーワーク応用①	肩の機能解剖学を学び、体現する
9	✓	ボーディーワーク応用②	肩～腕の連動に関する身体育成法Ⅰ課程の実施
10	✓	ボーディーワーク応用③	足の機能解剖学を学び体現する フットコンディショニング
11	✓	ボーディーワーク応用④	座る、立つ、歩くという連動する運動からスムーズな動きと姿勢について学ぶ
12	✓	ボーディーワーク応用⑤	各部位のムーブメントの実施により、機能の向上を図る
13	✓	ボーディーワーク応用⑥	2回目の測定を実施して、自身の変化と課題を確認する
14	✓	ボーディーワーク応用⑦	筆記試験 ムーブメントの復習
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

成果発表として演舞を披露

 評価方法

筆記と実技テストを開催

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ボーディーワーク基礎			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	32	ダンサー・インストラクター

 授業概要

身体応用基礎・知識の習得

 授業テーマ

課題を持って自身の身体能力の向上を目指す

 授業項目

 授業内容

1	✓	ボーディーワーク基礎①	ピラティス(呼吸、コア、ロール系) 身体育成法Ⅰ 課程1・2項目(呼吸、肩、弾性運動)
2	✓	ボーディーワーク基礎②	ピラティス(体幹のワーク) 身体育成法Ⅰ 課程1・2・9項目(跳躍運動追加)
3	✓	ボーディーワーク基礎③	ピラティス(ボールのワーク) 身体育成法Ⅰ 課程1・2・9項目(バリエーション追加)
4	✓	ボーディーワーク基礎④	ピラティス(セラバンド) 身体育成法Ⅰ 課程1・2・5(空間との関わり)
5	✓	ボーディーワーク基礎⑤	ピラティスと身体育成法を復習する
6	✓	ボーディーワーク基礎⑥	まとめのレポートについて確認し、実技試験の課題練習をする
7	✓	ボーディーワーク基礎⑦	レポート提出 実技試験
8	✓	ボーディーワーク応用①	身体育成法Ⅰ 課程(リズムと空間の課題) マット運動(ローリング、肩倒立、前後転)
9	✓	ボーディーワーク応用②	身体育成法Ⅰ 課程(アドバンス) マット運動(前後転系のバリエーション)
10	✓	ボーディーワーク応用③	身体育成法Ⅰ 課程(複合リズム) マット運動(コンタクトテクニックから補助倒立へ)
11	✓	ボーディーワーク応用④	身体育成法Ⅰ 課程(方向転換を加えた運動) マット運動(補助倒立、側転の基本)
12	✓	ボーディーワーク応用⑤	身体育成法Ⅰ 課程(方向転換の運動) マット運動(前転系～側転の練習)
13	✓	ボーディーワーク応用⑥	計測を実施して、1年間の変化と課題を確認する 実技試験の練習
14	✓	ボーディーワーク応用⑦	実技試験:身体育成法Ⅰ 課程より空間の項目と回転の基礎 マット運動(前転系) 1年間の総括と課題確認(レポート提出)
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

成果発表として演舞を披露

 評価方法

筆記と実技テストを開催

 教科書・参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語基礎			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必修・必修選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセントの基礎/習得

授業テーマ

発声発音の基礎知識&技術の習得

授業項目

授業内容

1	/	言語基礎①	マッサージ・ストレッチ・筋肉トレーニング・呼吸・発声の方法について説明、実践
2	/	言語基礎②	明瞭な発音の方法について説明、実践
3	/	言語基礎③	鼻濁音の理論と発音方法説明、実践
4	/	言語基礎④	無声化の理論と発音方法説明、実践
5	/	言語基礎⑤	総復習
6	/	言語基礎⑥	検定試験
7	/	言語基礎⑦	追試
8	/	言語応用①	アクセントの型と表記方法を知る アクセント辞典の使い方を確認する
9	/	言語応用②	正しい標準語アクセントの発音を練習問題を使用し繰り返す
10	/	言語応用③	プレスと間の使い方を知る 読み練習
11	/	言語応用④	リズム・テンポ・トーン・タッチの使い方を知る 読み練習
12	/	言語応用⑤	夏休み明け確認テスト
13	/	言語応用⑥	検定試験
14	/	言語応用⑦	追試
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

評価方法

正しい標準語アクセントの習得とイントネーションに必要な6種の変化のナレーション実技試験

教科書 ・ 参考文献

その他

講師オリジナル

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語基礎			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセント基礎知識から応用まで実践トレーニング

授業テーマ

プロミネンスとイントネーションを使えるようになり、ボイスサンプル作成を開始する

授業項目

授業内容

1	／	言語基礎①	プロミネンスの方法を知る 実践
2	／	言語基礎②	イントネーションの方法を知る 実践
3	／	言語基礎③	技術習得確認試験「課題原稿を読む」、ボイスサンプル構成について説明 作成開始
4	／	言語基礎④	ボイスサンプル原稿作成→確認繰り返し→完成
5	／	言語基礎⑤	ボイスサンプル原稿作成→確認繰り返し→完成
6	／	言語基礎⑥	ボイスサンプル喋り練習→ダメ出し繰り返し
7	／	言語基礎⑦	編集ソフト：ガレージバンド使用方法説明 実践
8	／	言語応用①	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
9	／	言語応用②	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
10	／	言語応用③	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
11	／	言語応用④	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
12	／	言語応用⑤	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
13	／	言語応用⑥	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
14	／	言語応用⑦	ボイスサンプル完成物披露
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

ボイスサンプル作成・アクセント・滑舌・発声基礎を習得

評価方法

ボイスサンプルを提出・評価  
声帯・体のしくみの筆記テスト

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)		声優学科		1 年	
授業コード	ホームルーム I			週間授業時数	2
担当講師名	中山雄一郎				
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	講義	必修	32	劇団 主宰/演出

 授業概要

スケジュールの共有と目標設定

 授業テーマ

自分の取り組み内容、理解度を把握する

 授業項目 授業内容

1	／	オリエンテーション	半期のスケジュールと各フローの伝達
2	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
3	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
4	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
5	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
6	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
7	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
8	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
9	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
10	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
11	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
12	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
13	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
14	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 後期進行における準備事項
15	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 後期進行における準備事項
16	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り ☑期進行における準備事項☑

 到達目標

各授業進行・スキルチェック振り返り

 評価方法

課題制作、提出物、出席での評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム I			2	中山雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	講義	必修	32	劇団 主宰/演出

 授業概要

スケジュールの共有と目標設定  
進級に向けた活動目標設定

 授業テーマ

進路にむけた活動内容の設定

 授業項目

 授業内容

1	／	オリエンテーション	半期のスケジュールと各フローの伝達
2	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り
3	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
4	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
5	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
6	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
7	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
8	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
9	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
10	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
11	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
12	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
13	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り / 目標に向けたスキルの確認振り返り
14	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 進級に関する準備事項
15	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 進級に関する準備事項
16	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 進級に関する準備事項☑

 到達目標

ライフデザイン・進路設定

 評価方法

課題制作、提出物、出席での評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度（前期）		声優学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅠ			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必修・必修選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	32	ナレーター・MC

 授業概要

社会進出に必要なとなる知識・スキルの習得。

 授業テーマ

社会人基礎力鍛錬/コミュニケーション能力の習得

 授業項目

 授業内容

1	／	フリートーク①	テーマ有無フリートーク
2	／	グループディスカッション①	グループディスカッション
3	／	グループディスカッション②	グループディスカッション
4	／	他己紹介	自己紹介/他己紹介
5	／	自己分析①	自己分析
6	／	自己分析②	自己分析、自己PR作成
7	／	プレゼンテーション①	自己PRプレゼン
8	／	フリートーク②	フリートーク強化
9	／	グループディスカッション③	グループディスカッション
10	／	グループディスカッション④	グループディスカッション
11	／	企業研究①	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	企業研究②	企業研究
13	／	業界分析①	企業研究、業界分析
14	／	業界分析②	企業研究、業界分析
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

就活スキルの向上。

 評価方法

授業への取り組み方

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅡ			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	32	ナレーター・MC

 授業概要

社会進出に必要なとなる知識・スキルの習得。

 授業テーマ

社会人基礎力鍛錬/コミュニケーション能力の習得

 授業項目

 授業内容

1	／	マナー実習①	ビジネスマナー実習
2	／	マナー実習②	ビジネスマナー実習
3	／	書類作成①	履歴書作成
4	／	書類作成②	履歴書作成
5	／	書類作成③	履歴書作成
6	／	プレゼンテーション①	作品プレゼン、自己プレゼン練習
7	／	プレゼンテーション②	作品プレゼン、自己プレゼン練習
8	／	業界分析①	業界、企業分析
9	／	業界分析②	業界、企業分析
10	／	自己PR①	志望動機、自己PRブラッシュアップ
11	／	自己PR②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	グループディスカッション①	グループディスカッション
13	／	グループディスカッション②	グループディスカッション
14	／	プレゼンテーション③	プレゼンテーション
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

就職活動スキルの向上。

 評価方法

授業への取り組み方

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)		声優学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム II			2	中山雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	講義	選択	32	劇団 主宰/演出

 授業概要

スケジュールの共有と目標設定

 授業テーマ

イベント取り組み進捗共有と就職・進路活動への進行

 授業項目

 授業内容

1	／	オリエンテーション	半期のスケジュールと各フローの伝達
2	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
3	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
4	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
5	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
6	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
7	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
8	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
9	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
10	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
11	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
12	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
13	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 個人面談☑
14	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 後期進行における準備事項
15	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り 後期進行における準備事項
16	／	授業振り返りと伝達	伝達と振り返り ☑期進行における準備事項☑

 到達目標

イベント進捗共有と進路設定

 評価方法

課題制作、提出物での評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)		声優学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	中山雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	講義	選択	32	劇団 主宰/演出

 授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

 授業テーマ

個別のキャリアプラン

 授業項目

 授業内容

1	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
2	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
3	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
4	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
5	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
6	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
7	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
8	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
9	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
10	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
11	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
12	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
13	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
14	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
15	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理
16	／	個人面談	課題：企業研究/エントリー/オーディション対策/課題整理

 到達目標

進路設定・進路決定

 評価方法

課題制作、提出物での評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化A			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	劇団風三等星 主宰/演出

 授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容

課題台本を複数用意

自己PRをまとめオーディションに備える

 授業テーマ

自己PRに強くなる

 授業項目

 授業内容

1	✓	声優審査強化A 導入 1	自己紹介、自己PR (出来るだけ全員) 質疑応答
2	✓	声優審査強化A 導入 2	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答
3	✓	声優審査強化A課題 1	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
4	✓	声優審査強化A課題 2	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
5	✓	声優審査強化A課題 3	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
6	✓	声優審査強化A課題 4	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
7	✓	声優審査強化A課題 5	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表、まとめ
8	✓	声優審査強化A課題 6	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
9	✓	声優審査強化A課題 7	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
10	✓	声優審査強化A課題 8	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
11	✓	声優審査強化A課題 9	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
12	✓	声優審査強化A課題 10	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
13	✓	声優審査強化A課題 11	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
14	✓	声優審査強化A課題 12	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
15	✓	声優審査強化A課題 13	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

 評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2024年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化A			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	64	劇団風三等星 主宰/演出

 授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容

課題台本を複数用意

自己PRをまとめオーディションに備える

 授業テーマ

自己PRに強くなる

 授業項目

 授業内容

1	/	声優審査強化A 導入 1	自己紹介、自己PR (出来るだけ全員) 質疑応答
2	/	声優審査強化A 導入 2	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答
3	/	声優審査強化A課題 1	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
4	/	声優審査強化A課題 2	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
5	/	声優審査強化A課題 3	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
6	/	声優審査強化A課題 4	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
7	/	声優審査強化A課題 5	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表、まとめ
8	/	声優審査強化A課題 6	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
9	/	声優審査強化A課題 7	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
10	/	声優審査強化A課題 8	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
11	/	声優審査強化A課題 9	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
12	/	声優審査強化A課題 10	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
13	/	声優審査強化A課題 11	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
14	/	声優審査強化A課題 12	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
15	/	声優審査強化A課題 13	自己PR (数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

 評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化B			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	劇団風三等星 主宰/演出

 授業概要

業界進出に備え表現を学ぶ

自己PRをまとめオーディションに備える

 授業テーマ

表現の幅を広げ、シチュエーションに備える

 授業項目

 授業内容

1	声優審査強化B導入1	オリエンテーション
2	声優審査強化B課題 1	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
3	声優審査強化B課題 2	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
4	声優審査強化B課題 3	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
5	声優審査強化B課題 4	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
6	声優審査強化B課題 5	テキストBを用い、読解した内容を表現する方法を学ぶ。
7	声優審査強化B課題 6	テキストBを用いた表現を、さらに深める。
8	声優審査強化B課題 7	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
9	声優審査強化B課題 8	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
10	声優審査強化B課題 9	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
11	声優審査強化B課題 10	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
12	声優審査強化B課題 11	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
13	声優審査強化B課題 12	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
14	声優審査強化B課題 13	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
15	声優審査強化B課題 14	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

読解力の向上を図り表現の幅を広げる

 評価方法

1人づつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化B			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	64	劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

業界進出に備え表現を学ぶ

自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

表現の幅を広げ、シチュエーションに備える

授業項目

授業内容

1	声優審査強化B導入1	オリエンテーション
2	声優審査強化B課題 1	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
3	声優審査強化B課題 2	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
4	声優審査強化B課題 3	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
5	声優審査強化B課題 4	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
6	声優審査強化B課題 5	テキストBを用い、読解した内容を表現する方法を学ぶ。
7	声優審査強化B課題 6	テキストBを用いた表現を、さらに深める。
8	声優審査強化B課題 7	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
9	声優審査強化B課題 8	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
10	声優審査強化B課題 9	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
11	声優審査強化B課題 10	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
12	声優審査強化B課題 11	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
13	声優審査強化B課題 12	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
14	声優審査強化B課題 13	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
15	声優審査強化B課題 14	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

読解力の向上を図り表現の幅を広げる

評価方法

1人づつ評価をし採点/発表

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)		声優学科		2年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化C			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	劇団風三等星 主宰/演出

 授業概要

業界進出に備え表現を学ぶ

自己PRをまとめオーディションに備える

 授業テーマ

表現の幅を広げ、シチュエーションに備える

 授業項目

 授業内容

1	声優審査強化C導入1	オリエンテーション
2	声優審査強化C課題 1	テキストEを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
3	声優審査強化C課題 2	テキストEを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
4	声優審査強化C課題 3	テキストEを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
5	声優審査強化C課題 4	テキストFを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
6	声優審査強化C課題 5	テキストFを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
7	声優審査強化C課題 6	テキストFを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
8	声優審査強化C課題 7	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
9	声優審査強化C課題 8	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
10	声優審査強化C課題 9	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
11	声優審査強化C課題 10	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
12	声優審査強化C課題 11	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
13	声優審査強化C課題 12	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
14	声優審査強化C課題 13	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
15	声優審査強化C課題 14	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

読解力の向上を図り表現の幅を広げる

 評価方法

1人づつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)		声優学科		2年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化C			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	64	劇団風三等星 主宰/演出

 授業概要

業界進出に備え表現を学ぶ

自己PRをまとめオーディションに備える

 授業テーマ

表現の幅を広げ、シチュエーションに備える

 授業項目

 授業内容

1	声優審査強化C導入1	オリエンテーション
2	声優審査強化C課題 1	テキストEを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
3	声優審査強化C課題 2	テキストEを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
4	声優審査強化C課題 3	テキストEを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
5	声優審査強化C課題 4	テキストFを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
6	声優審査強化C課題 5	テキストFを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
7	声優審査強化C課題 6	テキストFを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
8	声優審査強化C課題 7	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
9	声優審査強化C課題 8	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
10	声優審査強化C課題 9	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
11	声優審査強化C課題 10	テキストGを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
12	声優審査強化C課題 11	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
13	声優審査強化C課題 12	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
14	声優審査強化C課題 13	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
15	声優審査強化C課題 14	テキストHを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する④
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

読解力の向上を図り表現の幅を広げる

 評価方法

1人づつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ポディーワーク			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	32	ダンサー・インストラクター

 授業概要

身体表現の基礎・応用までを習得

 授業テーマ

細かなコントロールに関わる筋肉への刺激を入れ、より動ける身体を作っていく

 授業項目

 授業内容

1	✓	ポディーワーク基礎①	計測により、現在のコンディションを把握する 呼吸のコントロールとドロイン実習
2	✓	ポディーワーク基礎②	筋肉について:トレーニング理論、筋肉を意識して動くピラティス
3	✓	ポディーワーク基礎③	インナーユニットについて ベルビクムーブメント 身体育成法I課程
4	✓	ポディーワーク基礎④	スパイン、ベルビクムーブメント 身体育成法I課程 (アドバンス)
5	✓	ポディーワーク基礎⑤	全身のリリースとストレッチ (ボール、椅子) 身体育成法I課程(体感に関わる)
6	✓	ポディーワーク基礎⑥	全身のリリースとストレッチ(マット、ボール、椅子) 実技試験課題の確認と練習
7	✓	ポディーワーク基礎⑦	筆記試験 (トレーニング理論) 実技試験 (回転系)
8	✓	ポディーワーク応用①	動ける身体についての考察 東洋と西洋の運動の違い 太極舞の基本動作
9	✓	ポディーワーク応用②	太極舞 (金) 呼吸系、ピラティスで股関節、背骨に関するエクササイズ (セラバンド)
10	✓	ポディーワーク応用③	太極舞 (木) コア系筋トレ ピラティスでコア系ムーブメント
11	✓	ポディーワーク応用④	太極舞 (火) 有酸素運動 ピラティスで持久系ムーブメント
12	✓	ポディーワーク応用⑤	太極舞のそれぞれの動きのポイントを確認して練習
13	✓	ポディーワーク応用⑥	実技試験課題の金、火の練習
14	✓	ポディーワーク応用⑦	実技試験 (太極舞 金、火) ムーブメントのポイントを確認
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

体を使う表現に対して考察し表現する

 評価方法

太極舞の実技試験にクリア

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ポディーワーク			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	32	ダンサー・インストラクター

 授業概要

身体表現の基礎・応用までを習得

 授業テーマ

細かなコントロールに関わる筋肉への刺激を入れ、より動ける身体を作っていく

 授業項目

 授業内容

1	✓	ポディーワーク基礎①	計測 (5回目) 現状の把握と課題の確認 リリースとストレッチ(マット、ボール)
2	✓	ポディーワーク基礎②	和の所作について(座学) リリースとストレッチ(マット、ボール) 身体育成法II課程(重心移動と足運び)
3	✓	ポディーワーク基礎③	和の所作の基本 リリースとストレッチ(マット、椅子、ボール) 身体育成法II課程(アドバンス)
4	✓	ポディーワーク基礎④	和の所作(邦舞基礎①) 足からのコンディショニング 身体育成法II課程(空間形成)
5	✓	ポディーワーク基礎⑤	和の所作(邦舞基礎②) コンディショニングの把握と改善のプランニング 身体育成法II課程(リズムと空間の複合)
6	✓	ポディーワーク基礎⑥	身体育成法II課程(課題の練習) 和の所作(邦舞基礎③)
7	✓	ポディーワーク基礎⑦	実技試験 身体育成法II課程より
8	✓	ポディーワーク応用①	コンディショニング実践の為に(座学) 身体育成法II課程CI(コンタクトインプロビゼーション)基礎
9	✓	ポディーワーク応用②	コンディションチェック 身体育成法II課程CIとムーブメントワーク
10	✓	ポディーワーク応用③	コンディションチェックとエクササイズ 身体育成法II課程
11	✓	ポディーワーク応用④	コンディションチェックとエクササイズ 身体育成法II課程
12	✓	ポディーワーク応用⑤	コンディショニングレポート(課題)の確認 身体育成法II課程
13	✓	ポディーワーク応用⑥	計測(6回目) コンディショニングチェックとエクササイズ
14	✓	ポディーワーク応用⑦	レポート提出 実技試験(身体育成法II課程より)
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

体を使う表現に対して考察し表現する

 評価方法

実技と筆記試験を実施

 教科書・参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ表現			4	(株) パインズ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	タレント事務所所属、タレント業

 授業概要

実践と検証を繰り返し、収録の質を高めていく

 授業テーマ

白箱(ラフな線画)状態でのアフレコを理解 アニメ長尺アフレコのよりクオリティを上げた収録

 授業項目

 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ/白箱の基本的なレクチャー①
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表/マイクワーク、尺調など
3	／	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(一年生で学んだ意識ポイントをおさらい・定着)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(一年生で発見した個々の克服課題を注力指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	全通し①→改善箇所ピックアップ→伝達→小返し③
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
7	／	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	／	アフレコ応用①	公演に向けたスタッフワーク決め・ギャ収録・舞台上での出はけ確認など
9	／	アフレコ応用②	出はけ確認続き→出はけメインで全通し
10	／	アフレコ応用③	マイク前おさらい・出はけメイン全通し定着・オペレーション確認
11	／	アフレコ応用④	マイク前全通し→調整・出はけメイン全通し→調整
12	／	アフレコ応用⑤	実際の会場にてリハーサル・オペレーションを中心に細部確定
13	／	アフレコ応用⑥	前週の会場リハを踏まえて最終調整・スタッフワーク最終確定
14	／	アフレコ応用⑦	公演を終えて振り返り→レポート作成(次回公演に向けて課題ピックアップ含む) 白箱の基本的レクチャー②
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

稽古からアフレコ収録まで

 評価方法

与えられた役に対し表現力を高め発表できるか  
出席状況も評価のうちにはいります

 教科書・参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ表現			4	(株) パインズ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	64	タレント事務所所属、タレント業

授業概要

実践と検証を繰り返し、収録の質を高めていく

授業テーマ

白箱(ラフな線画)状態でのアフレコを理解 アニメ長尺アフレコのよりクオリティを上げた収録

授業項目

授業内容

1	／	アフレコ復習①	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表→マイクワーク、尺調など
2	／	アフレコ復習②	決まったキャストによる小返し①
3	／	アフレコ復習③	全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し②
4	／	アフレコ復習④	全通し→最終調整 最終リハーサルまで
5	／	アフレコ基礎⑤	スタッフワーク決め・ギャ収録
6	／	アフレコ基礎⑥	スタッフワーク決め・ギャ収録
7	／	アフレコ基礎⑦	出はけ確認続き→出はけメイン全通し
8	／	アフレコ応用①	出はけ確認続き→出はけメイン全通し
9	／	アフレコ応用②	マイク前おさらい ・出はけメイン全通し定着
10	／	アフレコ応用③	マイク前全通し→調整 ・出はけメイン全通し→調整
11	／	アフレコ応用④	オペレーション確認・スタッフワーク確認・小返し最終調整
12	／	アフレコ応用⑤	オペレーション確認・スタッフワーク確認・小返し最終調整 リハ準備
13	／	アフレコ応用⑥	実際の会場にてリハーサル→オペレーション
14	／	アフレコ応用⑦	会場を踏まえた最終調整 卒業公演に向けて
15	／	アフレコ応用⑧	会場を踏まえた最終調整 卒業公演に向けて
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

稽古からアフレコ収録まで

評価方法

与えられた役に対し表現力を高めは表できるか  
出席状況も評価のうちにはいります

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス表現			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	32	ダンサー・インストラクター

授業概要

選択授業にすることでより意識の高いダンスレッスンを実施  
ダンスに挑戦し仕事に変化させていく講座運営方針

授業テーマ

授業/ダンス・撮影までの流れを知る  
振り付けを覚える実践トレーニング

授業項目

授業内容

1	／	ダンス応用・実践①	振付を覚える
2	／	ダンス応用・実践②	振付を覚える
3	／	ダンス応用・実践③	振付を覚える
4	／	ダンス応用・実践④	振付を覚える
5	／	ダンス応用・実践⑤	振付を覚える
6	／	ダンス応用・実践⑥	振付を覚える
7	／	ダンス応用・実践⑦	テスト
8	／	ダンス応用・実践・撮影①	ステップを1つ覚える
9	／	ダンス応用・実践・撮影②	ステップを1つ覚える
10	／	ダンス応用・実践・撮影③	ステップを1つ覚える
11	／	ダンス応用・実践・撮影④	ステップを2つ覚える
12	／	ダンス応用・実践・撮影⑤	ステップを2つ覚える
13	／	ダンス応用・実践・撮影⑥	ステップを2つ覚える
14	／	ダンス応用・実践・撮影⑦	9つのステップを組み合わせてテスト
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

仮撮影としての目標設定  
80%のダンス構築を目指します

評価方法

仮撮影を評価対象とします

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス表現			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	32	ダンサー・インストラクター

授業概要

選択授業にすることでより意識の高いダンスレッスンを実施  
ダンスに挑戦し仕事に変化させていく講座運営方針

授業テーマ

授業/ダンス・撮影までの流れを知る  
振り付けを覚える実践トレーニング

授業項目

授業内容

1	／	ダンス応用・実践①	振り付けを覚える
2	／	ダンス応用・実践②	振り付けを覚える
3	／	ダンス応用・実践③	振り付けを覚える
4	／	ダンス応用・実践④	振り付けを覚える
5	／	ダンス応用・実践⑤	振り付けを覚える
6	／	ダンス応用・実践⑥	振り付けを覚える
7	／	ダンス応用・実践⑦	テスト・動画作成
8	／	ダンス応用・実践・撮影①	曲を選ぶ・グループ作成
9	／	ダンス応用・実践・撮影②	振り付けを作る
10	／	ダンス応用・実践・撮影③	振り付けを作る
11	／	ダンス応用・実践・撮影④	振り付けを作る
12	／	ダンス応用・実践・撮影⑤	振り付けを作る
13	／	ダンス応用・実践・撮影⑥	振り付けを作る
14	／	ダンス応用・実践・撮影⑦	テスト・動画撮影
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

仮撮影としての目標設定  
80%のダンス構築を目指します

評価方法

仮撮影を評価対象とします

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱表現			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	32	タレント・MC・アーティスト

 授業概要

表現力の向上・業界進出後の声優の職種の幅をひろげる

 授業テーマ

リズム、音程共に複雑な音符を階名で歌う。発声を自分のものにする

 授業項目

 授業内容

1	/	歌唱基礎①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲3番。
2	/	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習
3	/	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習
4	/	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習
5	/	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習
6	/	歌唱基礎⑥	階名で歌う。テスト コンコーネ50番練習曲3番。
7	/	歌唱基礎⑦	テスト あの素晴らしい愛をもういちど(暗譜)
8	/	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名を歌う。コンコーネ50番練習曲17番。Sento nel core
9	/	歌唱応用②	上記を繰り返し練習
10	/	歌唱応用③	上記を繰り返し練習
11	/	歌唱応用④	上記を繰り返し練習
12	/	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習
13	/	歌唱応用⑥	階名を歌う。テスト コンコーネ50番練習曲17番(暗譜)
14	/	歌唱応用⑦	階名を歌う。Sento nel core(暗譜)
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

課題をクラスのメンバー全員/個人で発表

 評価方法

1人ずつ個人発表し歌唱力採点

全体発表はクラスごとに行い結果を後日発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱表現			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	32	タレント・MC・アーティスト

授業概要

表現力の向上・業界進出後の声優の職種の幅をひろげる

授業テーマ

リズム、音程共に複雑な音符を階名で歌う。発声を自分のものにする

授業項目

授業内容

1	／	歌唱基礎①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲13番。アニメソング
2	／	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習。
3	／	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習。
4	／	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習。
5	／	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習。
6	／	歌唱基礎⑥	階名で歌う。テスト コンコーネ50番練習曲13番 (暗譜)
7	／	歌唱基礎⑦	階名で歌う。テスト アニメソング (暗譜)
8	／	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲27番。アニメソング
9	／	歌唱応用②	上記を繰り返し練習。
10	／	歌唱応用③	上記を繰り返し練習。
11	／	歌唱応用④	上記を繰り返し練習。
12	／	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習。
13	／	歌唱応用⑥	階名で歌う。テスト コンコーネ50番練習曲27番 (暗譜)
14	／	歌唱応用⑦	階名で歌う。テスト アニメソング (暗譜)
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題をクラスのメンバー全員/個人で発表

評価方法

1人ずつ個人発表し歌唱力採点

全体発表はクラスごとに行い結果を後日発表

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

 授業概要

芸能業界で活躍するための知識と経験を養います

 授業テーマ

業界実践・フリートーク・ラジオ・MCなど幅広く経験を積む講座

 授業項目

 授業内容

1	/	業界実践課題①	オリエン
2	/	業界実践課題②	フリートーク実践
3	/	業界実践課題③	フリートーク実践
4	/	業界実践課題④	ラジオ実践
5	/	業界実践課題⑤	ラジオ実践
6	/	業界実践課題⑥	ラジオ実践
7	/	業界実践課題⑦	ラジオ実践
8	/	業界実践課題・芸能知識①	MC
9	/	業界実践課題・芸能知識②	MC
10	/	業界実践課題・芸能知識③	MC
11	/	業界実践課題・芸能知識④	番組ナレーション実践講座
12	/	業界実践課題・芸能知識⑤	番組ナレーション実践講座
13	/	業界実践課題・芸能知識⑥	番組ナレーション実践講座
14	/	業界実践課題・芸能知識⑦	番組ナレーション実践講座
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

質疑応答力・フリートークを磨く

 評価方法

フリートーク実践評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	64	劇団万能グローブガラパゴスダイナモス 主宰/演出

授業概要

芸能業界で活躍するための知識と経験を養います

授業テーマ

業界実践・フリートーク・ラジオ・MCなど幅広く経験を積む講座

授業項目

授業内容

1	/	業界実践課題・芸能知識 8	番組ナレーション実践講座
2	/	業界実践課題・芸能知識 9	番組ナレーション実践講座
3	/	業界実践課題・芸能知識 10	番組ナレーション実践講座
4	/	業界実践課題・芸能知識 11	MC
5	/	業界実践課題・芸能知識 12	MC
6	/	業界実践課題・芸能知識 13	MC
7	/	業界実践課題・芸能知識 14	ラジオ実践
8	/	業界実践課題・芸能知識 15	ラジオ実践
9	/	業界実践課題・芸能知識 16	ラジオ実践
10	/	業界実践課題・芸能知識 17	MC
11	/	業界実践課題・芸能知識④	フリートーク
12	/	業界実践課題・芸能知識⑤	フリートーク
13	/	業界実践課題・芸能知識⑥	フリートーク
14	/	業界実践課題・芸能知識⑦	フリートーク
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

質疑応答力・フリートークを磨く

評価方法

フリートーク実践評価

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語表現			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必修・必修選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	32	劇団goto 主宰/演出

 授業概要

発声・滑舌・アクセント・ボイスサンプルの完成をめざし即戦力を養う

 授業テーマ

イントネーションのついたナレーションの習得

 授業項目

 授業内容

1	/	言語基礎①	朗読題材1 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
2	/	言語基礎②	朗読題材1 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
3	/	言語基礎③	朗読題材1 制限時間を設け、実施 テンポ反復練習
4	/	言語基礎④	朗読題材1 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
5	/	言語基礎⑤	朗読題材1 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
6	/	言語基礎⑥	朗読題材1 制限時間を設け、実施 指定プロミネンス 反復練習
7	/	言語基礎⑦	朗読題材1 発表
8	/	言語応用①	朗読題材2 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
9	/	言語応用②	朗読題材2 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
10	/	言語応用③	朗読題材2 制限時間を設け、実施 テンポ反復練習
11	/	言語応用④	朗読題材2 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
12	/	言語応用⑤	朗読題材2 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
13	/	言語応用⑥	朗読題材2 制限時間を設け、実施 指定プロミネンス 反復練習
14	/	言語応用⑦	朗読題材2 発表
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

発声滑舌ナレーションの習得・実践・発表

 評価方法

筆記・実技でトレーニングの成果発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語表現			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必修・必修選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセント・ボイスサンプルの完成をめざし即戦力を養う

授業テーマ

イントネーションのついたナレーションの習得

授業項目

授業内容

1	／	言語応用①	朗読題材3 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
2	／	言語応用②	朗読題材3 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
3	／	言語応用③	朗読題材3 制限時間を設け、実施 テンポ反復練習
4	／	言語応用④	朗読題材3 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
5	／	言語応用⑤	朗読題材3 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
6	／	言語応用⑥	朗読題材3 制限時間を設け、実施 指定プロミネンス 反復練習
7	／	言語応用⑦	朗読題材3 発表
8	／	言語表現①	朗読題材4 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
9	／	言語表現②	朗読題材4 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表
10	／	言語表現③	朗読題材4 制限時間を設け、実施 テンポ反復練習
11	／	言語表現④	朗読題材4 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
12	／	言語表現⑤	朗読題材4 制限時間を設け、実施 プレスト間 反復練習
13	／	言語表現⑥	朗読題材4 制限時間を設け、実施 指定プロミネンス 反復練習
14	／	言語表現⑦	朗読題材4 発表
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

発声滑舌ナレーションの習得・実践・発表

評価方法

筆記・実技でトレーニングの成果発表

教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習Ⅰ			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	32	劇団 兄弟船

 授業概要

過去の表現作品の考察  
 プロフシート完了  
 オーディションに向けての業界進出最終準備

 授業テーマ

映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる  
 希望プロダクション決定  
 プロフシートの添削・作成・完成・提出・オーディションに参加

 授業項目

 授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究	70年代の作品	プロフシート配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究	80年代の作品	プロフシート作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究	90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究	2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究	70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究	80年代の作品	プロフシート回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究	90年代の作品	
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究	2000年代の作品	プロフシート添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究	70年代の作品	
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究	80年代の作品	プロフシート回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究	90年代の作品	
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究	2000年代の作品	プロフシート添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究	70年代の作品	
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究	80年代の作品	プロフシート完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施		
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施		

 到達目標

プロフシート添削・完成・企業への提出  
 映画作品研究をし表現の幅を広げる

 評価方法

オーディション参加のためのプロフシート完成

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習Ⅱ			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	32	劇団 兄弟船

 授業概要

芸能業界で活躍するための知識と経験を養います

 授業テーマ

業界実践・フリートーク・ラジオ・MCなど幅広く経験を積む講座

 授業項目

 授業内容

1	/	業界実践課題①	オリエン
2	/	業界実践課題②	フリートーク実践
3	/	業界実践課題③	フリートーク実践
4	/	業界実践課題④	ラジオ実践
5	/	業界実践課題⑤	ラジオ実践
6	/	業界実践課題⑥	ラジオ実践
7	/	業界実践課題⑦	ラジオ実践
8	/	業界実践課題・芸能知識①	MC
9	/	業界実践課題・芸能知識②	MC
10	/	業界実践課題・芸能知識③	MC
11	/	業界実践課題・芸能知識④	番組ナレーション実践講座
12	/	業界実践課題・芸能知識⑤	番組ナレーション実践講座
13	/	業界実践課題・芸能知識⑥	番組ナレーション実践講座
14	/	業界実践課題・芸能知識⑦	番組ナレーション実践講座
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

 到達目標

質疑応答力・フリートークを磨く

 評価方法

フリートーク実践を撮影し担任共有のもと評価

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	1 年
------------	------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	中山雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	224	劇団 主宰/演出

 授業概要

企業研修を行いながら実務実践を体験する。

(学内での準備も含む)

 授業テーマ

授業では学べない、企業研修での直接的な気づきを得る。

 授業項目

 授業内容

1	／	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

 到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

 評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(前期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	中山雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	224	劇団 主宰/演出

 授業概要

企業研修を行いながら実務実践を体験する。

(学内での準備も含む)

 授業テーマ

授業では学べない、企業研修での直接的な気づきを得る。

 授業項目

 授業内容

1	/	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	/	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	/	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	/	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	/	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	/	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	/	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	/	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	/	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	/	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	/	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	/	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	/	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	/	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	/	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	/	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

 到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

 評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他

2025年度(後期)	声優学科	2年
------------	------	----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	中山雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	選択	224	劇団 主宰/演出

 授業概要

企業研修を行いながら実務実践を体験する。

(学内での準備も含む)

 授業テーマ

授業では学べない、企業研修での直接的な気づきを得る。

 授業項目

 授業内容

1	/	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	/	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	/	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	/	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	/	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	/	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	/	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	/	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	/	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	/	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	/	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	/	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	/	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	/	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	/	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	/	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

 到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

 評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

 その他